

令和5年度  
事業計画・収支予算書



海の湖  
Umi no Mizuumi



# 目次

## 令和5年度 事業計画

---

- I 事業の運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
  
- II 事業の概要
  - ◆ 公益目的事業の実施
    - 公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業・・・・・・・・ P 2
      - 1 観光地域づくり戦略策定・管理事業
      - 2 観光地域づくり推進事業
      - 3 地域の魅力創造事業
      - 4 観光プロモーション事業
      - 5 その他観光振興に関する事業
  
    - 公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業・・・・・・・・ P 9
      - 1 コンベンション誘致事業
      - 2 コンベンション主催者への支援事業
      - 3 コンベンション関連情報の収集・分析事業
  
    - 公3 観光案内所管理運営・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11
      - 1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営
  
  - ◆ その他事業の実施
    - 他1 会員サービス事業・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
      - 1 賛助会員への情報提供
      - 2 観光関係優良従業員の表彰
      - 3 情報交換会の開催

## 令和5年度 収支予算

---

- 収支予算及び内訳書（正味財産増減計算書ベース）・・・・・・・・ P 13
- 資金調達及び設備投資の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・ P 16

# 令和5年度 事業計画

## I 事業の運営方針

3年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の流行は、市民生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼし、今なお続いています。しかしながら、ワクチン接種率の向上や新薬の開発等にともない、昨年10月には水際対策の緩和、そして今年5月8日には感染症法上の類型を2類相当から5類への引き下げが決定するなどウィズコロナへ向けての新しい動きが着実に進展しています。

令和5年度は、コロナ禍で一変した「日常」の中で生まれた「新たなニーズ」に即応しつつ、当地域で展開される、NHK大河ドラマ「どうする家康」に関わる各方面での取組や、花博20周年記念の機会を的確にとらえ、当地域が有する資源をフルに活用し、積極果敢に取り組むことで地域の元気をいち早く取り戻すよう、観光を通じた地域の活性化にさらに尽力してまいります。

公益財団法人の事業としては、「公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業」「公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業」「公3 観光案内所管理運営事業」の3本の柱を引き続き推進してまいります。

公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業については、観光地域づくりのための「8つの基本戦略」に基づき、設定したKPIの達成に向けてそれぞれの取組を推進してまいります。

特に、2023年3月18日にグランドオープンを迎える「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」をフックとした観光誘客の拡大に向け、ドラマ館とその周辺エリアを巡る新たな旅行商品を造成します。広域連携としては、東三河広域観光協議会とともに「家康街道で地域の魅力をつなげるプロジェクト」を推進し、周遊・滞在型観光の促進に努めます。

また、サステナブルツーリズムやガストロノミーツーリズム等につきましても、これまでの取組を拡大するとともに、家康関連事業と合わせて、効果的な発信を図ってまいります。

さらに、来年の花博20周年記念事業に向けて、浜名湖花フェスタをはじめとするガーデンツーリズムにも力点を置き、より多くの皆様をお迎えできるよう積極的な誘客に取り組んでまいります。

公2 コンベンションを中心としたMICE開催誘致支援事業については、度重なるコロナ感染の拡大により深刻な影響を受けるなか、安全・安心な感染症対策やハイブリッド開催の普及もあり、回復傾向がみられました。

こうしたなか、政府の水際対策の緩和やスポーツ観戦、イベント開催に係る人数制限の撤廃等により、MICE開催に向けた活動がにわかに活発なものとなっています。

MICEの開催は地域への経済波及効果をもたらすとともに新たなビジネス・イノベーション創造の機会となるものであり、訪問活動や多様なステークホルダーとの連携を進めるなかで、浜松・浜名湖地域の魅力と優位性を活かした誘致活動を積極的に推進してまいります。

公3 観光案内所管理運営事業については、浜松市観光インフォメーションセンターのホスピタリティの質を高めながら、「どうする家康」の放送に合わせ増加する来訪者のニーズに対して、的確かつ満足度の高い情報提供につとめ、幅広いお客様に対応してまいります。

## Ⅱ 事業の概要

### ◆ 公益目的事業の実施 (205,595千円)

#### 公1 観光地域づくり・戦略的プロモーション事業 (137,206千円)

浜松市、湖西市及び周辺地域の産業、文化、歴史などの資源を活用し、行政、観光施設、民間団体・企業等との連携を図り、地域のブランド確立を目指して、調査、分析に基づく戦略策定と、戦略に基づく効果的・効率的な情報発信を推進するとともに、観光客の誘致及び受入により交流人口の拡大を図り、観光まちづくりの推進と地域社会の健全な発展を目的とする。

#### 1 観光地域づくり戦略策定・管理事業

##### (1) 顧客満足度調査、来訪意向調査、旅行消費額調査等の実施

- ①域外からの来訪意向、来訪者満足度、リピーター率、旅行消費額等の独自調査の実施及び分析
  - ・全国観光圏推進協議会の来訪者満足度調査の実施
  - ・外国人の年間宿泊人数調査
  - ・ドコモユーザー5,000人に対するブランド認知率と来訪意向調査

##### (2) 観光地域づくり戦略計画に基づいた事業の実施、管理

- ①8つの基本戦略に基づいた事業の実施、管理

- ① 効果的な情報発信の基盤整備
- ② 顧客の囲い込み策の構築
- ③ 観光商品の開発と誘客促進
- ④ サービスの品質向上
- ⑤ 広域周遊施策の推進
- ⑥ インバウンド受入環境整備
- ⑦ 観光インフラの整備推進
- ⑧ 地域との協働

##### (3) 戦略計画の周知・啓発

- ①会議等の開催を通じた情報共有や及び各種ツールを活用した情報発信
  - ・浜名湖観光圏の戦略会議の定期開催
  - ・浜名湖観光圏シンポジウムや各種セミナー開催による戦略計画の周知・啓発

- ・WEB（公式HP・SNS（Instagram、Facebook、twitter・ジェンヌちゃんねる）を通じた各種情報発信
- ・会員企業向けの無料の会員情報紙の発行
- ・会員企業へのメールマガジンの定期配信

## 2 観光地域づくり推進事業

---

### (1) 浜名湖観光圏整備推進事業の運営管理

- ①7つのワーキンググループの開催
  - ・各事業の詳細の決定、進捗管理
- ②浜名湖観光圏戦略会議の開催
  - ・浜名湖観光圏事業の事業計画の決定、進捗管理
- ③浜名湖観光圏整備推進協議会総会における事業予算の承認
- ④浜名湖観光圏シンポジウム・セミナー等の開催
  - ・地域住民、観光関連事業者等の意識啓発
- ⑤全国観光圏推進協議会への参加
  - ・全国観光圏推進協議会への定期参加
  - ・13観光圏連携事業への参加  
(人材育成、顧客満足度調査、ツーリズムEXPO出店等)

### (2) 観光地域づくりプラットフォームの確立

- ①各観光協会、観光事業者等との事業等のマッチング、すり合わせの実施
  - ・浜名湖花フェスタ実行委員会への参画
  - ・浜名湖一周サイクリングにおける各観光協会とのおもてなし連携
  - ・浜名湖ガーデンツーリズム推進会議での連携(浜松・浜名湖地域及び掛川市、袋井市、森町含む静岡県西部エリア)
  - ・浜松市家康プロジェクト推進協議会誘客宣伝分科会での連携
  - ・浜松・浜名湖農泊推進事業実行委員会(館山寺)への参画
  - ・浜松・三ヶ日みかんの里協議会への参画
  - ・2024年花博20周年に向けた連携
  - ・三遠南信連携として南信州と東三河との相互PRと誘客事業
- ②民間事業者との連携事業
  - ・地域産業の視察や経営者の思いや独自のマネジメント手法を知るテクニカルビジットの推進
  - ・浜松パワーフード学会、農協との連携による浜松・浜名湖の食のPR

- ・地域事業者とのコンテンツ造成事業
- ・郵便局物販サービスとの浜松・浜名湖の特産品カタログ作成と販売
- ・ペットツーリズムの推進

### 3 地域の魅力創造事業

---

#### (1) 滞在プログラム造成事業

- ①「海の湖」ブランド体感プログラム開発事業
  - ・浜名湖を中心とした体験型コンテンツの造成
  - ・産業視察や経営者の経営哲学を知るテクニカルビジットの推進
  - ・「海の湖」ブランド体感プログラムとしてのサステナブルツーリズムの推進
- ②サイクリング推進事業
  - ・受入体制整備（サイクリストの宿・バイシクルピットの認定）
  - ・地域のロコサイクリストの登録の推進
  - ・浜名湖サイクルツーリズム推進会議の開催
  - ・浜名湖サイクルツーリング（ハマイチ）の開催
  - ・サイクリスト向け満足度調査の実施
- ③浜名湖舟運事業
  - ・舟運を活用した広域周遊航路事業
  - ・花博 20 周年に向けた交通ネットワーク拠点整備への協力
  - ・静岡県と連携した栈橋活用可能性調査事業への協力
  - ・富士川楽座との相互誘客連携
- ④ガーデンツーリズム推進事業
  - ・アメイジングガーデン浜名湖の推進
  - ・浜名湖花フェスタ、花博 20 周年記念事業を核とした回遊性向上
  - ・花の集印帳の販売
  - ・ネクスコ中日本との連携による共通券付きドライブプランの販売
  - ・インフルエンサーを活用した SNS マーケティング
  - ・女性向けデジタルツールを活用した誘客施策
- ⑤ガストロノミーツーリズム推進事業
  - ・郵便局物販カタログ「浜松・浜名湖よくばり三昧」の PR
  - ・浜松パワーフード推進による周遊事業
  - ・浜名湖の市場や野菜の圃場の視察研修ツアーの開催
  - ・静岡県との連携事業の実施

- ⑥ 「浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」の企画、催行
  - ・体験商品造成に伴う民間事業者との連携
  - ・体験商品の紹介サイトの運営
- ⑦ 教育旅行向けプログラムの企画、造成
  - ・修学旅行・研修旅行向け体験、SDGsプログラムの企画、造成、販売

## (2) 浜松まつり組織委員会及び同委員会広報宣伝部の管理運営（事務局）

### ① 浜松まつり組織委員会

本市最大のイベントである浜松まつり組織委員会の事務局として、浜松まつりの運営を行う。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため国や県などが示すガイドラインを遵守するとともに、独自のガイドラインを作成・徹底したうえで、感染動向を注意しつつ実施する。凧揚げ会場・中心市街地での御殿屋台の引き回しは有観客を想定し実施する。糸切合戦や練りなど感染リスクの高い取組みは、感染状況等を注視しながら実施の可否を引き続き検討していく。にぎわいイベントについてはパレードを6年ぶりに再開するほか、その他イベントについても参加関係者と実施に向けて協議をすすめていく。

### ② 浜松まつり組織委員会広報宣伝部

PRポスター作成等の広告宣伝活動について、実施規模等を検討しつつ取り組む。

## (3) 地域特産品販路開拓支援事業（事務局）

浜松・浜名湖地域が全国に誇る特産品と観光振興に繋がる商品をまとめたカタログギフトの作成、販売を通じ、特産品の販路拡大と本地域のブランド化を図り、観光誘客を促進するとともに、地域経済の活性化に寄与する。

### ① 浜松・浜名湖物産振興協議会事務局の運営及び販売

- ・カタログ掲載事業者との契約、商品の受注連絡、発送確認、代金支払い
- ・販売委託先との契約、納品、販売数管理
- ・カタログを電子化し注文をWEB上で行う仕組みを構築、広報用HP等の作成・更新等の実施
- ・浜松市公式オンラインアンテナショップ「はままつ出世マーケット」の運用

## 4 観光プロモーション事業

### (1) デジタルプロモーション事業

- ① 浜松・浜名湖地域の観光情報サイト「浜松だいすきネット」の管理運営  
(浜名湖わんこ旅、浜松・浜名湖ちよい旅ガイド含む)
- ② アメイジングガーデン・浜名湖公式WEBの管理運営
- ③ 浜名湖1周サイクリング「ハマイチWEB」の管理運営
- ④ 多言語観光情報サイトの管理運営 (英、中(繁・簡)、韓、泰、越、伯、仏)
- ⑤ SNS (インスタグラム visit\_hamanako、Facebook、twitter) の管理運営及び宣伝広告
- ⑥ YOUTUBE「ジェンヌちゃんねる」を活用したWEBプロモーション

### (2) 国内セールスプロモーション事業

- ① インナープロモーション
  - ・ 浜松・浜名湖のスゴイもの50撰ポスター(魚、野菜、祭り、花木)の配布
  - ・ 海の湖教科書(魚、野菜、祭り、花木)の販売
  - ・ 浜松・浜名湖を知る「ぬり絵ブック」～3匹のわんこと七つの宝玉～の販売
  - ・ 地元女性情報発信チーム「海の湖HAMANAジェンヌ」による情報発信
- ② アウタープロモーション：都市圏(東京、大阪、名古屋等)向け
  - ・ 東京、大阪、名古屋等での観光説明会の開催、旅行会社訪問、各種商談会、旅行展への参加、プロモーションの実施 特に家康関連プロモーションが主体
  - ・ 静岡県、静岡県観光協会、浜松市等との連携事業
  - ・ 県主体の教育旅行、家康プロモーションに参加
- ③ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会事業推進部会西部地域会議
  - ・ 商品の造成と販売促進
  - ・ 浜松・浜名湖教育旅行誘致部会の運営  
SDGs、体験、産業観光の素材の開発とPR
- ④ メディアプロモーション事業
  - ・ 雑誌、WEB、TV、ラジオ、新聞等への掲載

### (3) 海外インバウンド事業

- ① インバウンド推進事業
  - ・ 情報発信の強化(インバウンド向けHPの整備)
  - ・ ターゲット国でのプロモーション(台湾、タイ、ベトナム、オーストラリア)
  - ・ ランドオペレーターを補完する機能の確立

- ・欧米豪・台湾向け 在日外国人の目線を入れた商品造成とWEB記事掲載
- ・ランドオペレーターへのセールス

## ②県内連携事業

- ・富士山静岡空港利用促進協議会との連携
- ・TSJ（静岡県DMO）、するが企画観光局、美しい伊豆創造センターとの連携

## ③広域連携事業

- ・三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会との連携
- ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会との連携
- ・昇龍道連絡調整会議との連携
- ・昇龍道DMO連携委員会との連携
- ・名古屋市観光コンベンションビューローとの連携

## 5 その他観光振興に関する事業

---

### 各委員会等への参画（順不同）

- ①バイクのふるさと浜松実行委員会
- ②浜松市文化振興財団理事会
- ③浜松国際ピアノコンクール実行委員会
- ④浜名湖地域舟運都市構想研究会
- ⑤浜名湖アートクラフトフェア実行委員会
- ⑥静岡国際オペラコンクール推進委員会
- ⑦浜松市花みどり振興財団理事会
- ⑧浜松 21 世紀都市交通会議
- ⑨静岡県道路交通渋滞対策推進協議会西部地域検討部会
- ⑩浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会
- ⑪浜松交通圏タクシー準特定地域協議会
- ⑫浜松市ユニバーサルデザイン審議会
- ⑬富士山静岡空港利用促進協議会
- ⑭富士山静岡空港利用促進協議会就航促進・利用拡大委員会
- ⑮中部の観光を考える百人委員会
- ⑯三遠南信・伊勢志摩広域観光連携協議会
- ⑰昇龍道連絡調整会議
- ⑱浜松地域の産業観光を推進する会
- ⑲出世の街浜松 家康公祭り実行委員会
- ⑳浜名湖ミナトリング実行委員会
- ㉑浜松吹奏楽大会 2023 実行委員会
- ㉒浜松市スマート I C 地区協議会
- ㉓はままつ響きの創造プロジェクト実行委員会
- ㉔ビーチ・マリンスポーツ推進協議会

- ②⑤ 浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会役員会
- ②⑥ 浜名湖キューバヘミングウェイカップ大会実行委員会
- ②⑦ 湖西市観光振興協議会
- ②⑧ 浜松市中小企業振興会議
- ②⑨ 浜名湖地域振興・減災協議会
- ③⑩ 浜松創造都市推進会議
- ③⑪ はままつクリエイティブシティブースター事業実行委員会
- ③⑫ 浜松市デジタルスマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会
- ③⑬ 静岡県立美術館第三者評価委員会
- ③⑭ 浜松歴史的風致維持向上委員会
- ③⑮ 浜松・浜名湖観光地域づくり協議会
- ③⑯ 浜松商工会議所 観光サービス部会
- ③⑰ 浜松ホテル旅館協同組合
- ③⑱ 浜松・三ヶ日 みかんの里協議会
- ③⑲ 美しい邑くんま推進協議会
- ④⑰ 静岡県サイクルツーリズム協議会
- ④⑱ 太平洋岸自転車道推進静岡県地区協議会
- ④⑲ 太平洋岸自転車道「日本風景街道ルート」連絡会
- ④⑳ 静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議
- ④㉑ 浜名湖サイクルツーリズム災害連携社会実験協議会
- ④㉒ 海と日本プロジェクト in 浜名湖 実行委員会
- ④㉓ 浜松市文化財保存活用地域計画策定検討会
- ④㉔ 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会
- ④㉕ 家康プロジェクト推進協議会
- ④㉖ 浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会
- ④㉗ JAF 連絡協議会
- ④㉘ 家康街道で地域の魅力をつなげるプロジェクト推進委員会
- ④㉙ 東海地区外国人観光客誘致協議会
- ④㉚ 浜名湖観光圏整備推進協議会
- ④㉛ HAMAMATSU FREE Wi-Fi 協議会
- ④㉜ 歴史・文化資源を活用した広域連絡会
- ④㉝ 全国観光圏推進協議会
- ④㉞ 大都市観光協会連絡協議会
- ④㉟ 一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー
- ⑤⑰ 中部コンベンション連絡協議会
- ⑤⑱ 静岡県コンベンション推進協議会
- ⑤⑲ 一般社団法人日本コンベンション協会
- ⑤⑳ 全国花のまちまちづくり浜松大会実行委員会
- ⑤㉑ 浜名湖水辺整備推進協議会
- ⑤㉒ 浜名湖テラス検討協議会

## 公2 コンベンションを中心としたMICE支援事業 (37,169千円)

新型コロナウイルス感染症の規制緩和により回復傾向にあるMICE事業の本地域開催件数を伸ばす為、新たなシステムによるデータ活用、事業推進体制強化とネットワークの構築を行いつつ、本地域の強みを生かしたMICE誘致強化に取り組む。

### 1 コンベンション誘致事業

#### (1) 首都圏・名古屋・静岡等への誘致活動

MICE主催者・事務局への訪問とデータ収集

#### (2) 浜松市内及び周辺地域の大学、団体等への定期的な訪問活動

学会大会を中心としたMICE主催者になりうる団体、大学、医療施設等への定期的な訪問とデータ収集

#### (3) コンベンション等運営会社との連携

首都圏・中京圏・関西圏、その他都市圏のPCO、旅行会社への誘致営業、現地サポート及び情報交換

#### (4) 浜松地域のステークホルダーとの連携と新たなネットワークの構築

浜松地域誘致対策協議会から発展的なネットワーク構築を行い、定期的な情報共有と臨機応変なMICE誘致支援活動の連携を成しえる基盤を整える

#### (5) JNTO、JCCB、関係団体が開催する商談会、展示会等への参加

- ①国際MICEエキスポ（IME）やその他MICE商談会への参加
- ②学術会議・BtoB展示会等への出展・参加
- ③国際会議・海外インセンティブ商談会への参加

#### (6) 自治体・他都市・関係団体との連携活動

- ①自治体との定例ミーティングの実施
- ②中部コンベンション連絡協議会
- ③静岡県コンベンション推進協議会
- ④4都市コンベンションビューロー連携会議（福井県/鳥取県/長野市）
- ⑤他都市コンベンションビューローとの連携誘致

#### (7) MICE誘致支援策の検討

- ①ハイブリッド開催形式の中小規模コンベンションへの支援制度拡充

- ②国際会議誘致拡大に向けた国際会議開催助成制度の改定
- ③他都市との比較による各種支援制度の見直しと新たな制度の検討

## 2 コンベンション主催者への支援事業

---

### (1) コンベンション開催支援の実施

- ①企画提案・視察受入・関係箇所との調整
- ②コンベンション開催助成金の交付
- ③コンベンション・イベントの歓迎案内掲示
- ④M I C Eガイド・観光パンフレット類提供
- ⑤土産品販売所の設置及びオンライン物産販促
- ⑥動画や画像を活用した主催者支援
- ⑦M I C E開催の後援
- ⑧その他各種支援

### (2) コンベンション支援資料の作成と広報

- ① ホームページの機能強化（支援制度・情報発信・日英コンテンツ更新）
- ② M I C E業界団体への加入及び機関紙への広報強化
- ③ 新支援制度の案内作成と広報（チラシ、WEB、デジタル媒体等）
- ④ 誘致支援時に必要なデジタルツール（画像・動画・企画書等）の更新
- ⑤ 新たな支援ツール（ノベルティ等、参加者向けツール）の開発と広報

### (3) その他事業

- ①ユニークベニュー（特別感や地域特性を演出できるレセプション会場）の開発
- ②市内M I C E施設のデジタル媒体による広報支援
- ③M I C E関連体験プログラム開発

## 3 コンベンション関連情報の収集・分析事業

---

- ①浜松市内及び周辺地域の大学、医療施設、各種団体事務局及び関係団体等の主催者を対象にしたM I C Eの開催意向及び開催状況調査
- ②J C C B（日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）、J N T O（日本政府観光局）等のM I C E開催データを活用したデータ収集及び分析
- ③M I C E戦略策定に向けた分析調査
- ④国際会議開催実績の集計を静岡県及びJ N T Oへ情報提供

### 公3 観光案内所管理運営 (30,690千円)

浜松市より受託している「浜松市観光インフォメーションセンター」において、来訪者に対し、観光、イベント、交通、飲食、宿泊等に関する各種情報を提供するとともに、市民団体(観光・通訳ボランティア)との連携による地域全体でのホスピタリティ溢れる対応により利用者の利便性の向上を図る事業を推進することで、地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。

#### 1 浜松市観光インフォメーションセンターの管理運営

- ・観光、イベント、地域情報等の収集、案内
- ・パンフレット・チラシ等の収集、配置及び配布
- ・観光イベント等の最新情報の収集
- ・利用者にわかりやすい資料の作成、配布
- ・市内各観光案内所への情報提供
- ・パンフレット等の郵送請求への迅速な対応
- ・観光PRのための自主事業の実施
- ・浜松市土産品協会と連携し、特産品・土産品を展示
- ・観光ボランティアコーナーの設置  
浜松ボランティアガイドの会及び通訳ボランティア HELP の会と連携
- ・Wi-Fiによる情報提供
- ・接遇研修への参加(ユニバーサルツーリズムへの対応等)
- ・アプリを活用した手荷物預かり
- ・車椅子、ベビーカーの貸し出し
- ・「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」の入場チケットの販売

## ◆ その他事業の実施 (1,350 千円)

### 他1 会員サービス事業 (1,350 千円)

地域全体で観光・コンベンション等による来訪者へ満足度の高いおもてなしを実施するため、会員間における情報交換・共有を通してのスキルアップを図るとともに、当財団の活動に対する理解を得ることによる、当財団の基盤・組織力の強化を目的として、賛助会員を対象とした各種事業を行う。

#### 1 賛助会員への情報提供

---

##### (1) マーケティング調査結果等の観光関連資料の提供

- ・官公庁（観光庁、県、浜松市、湖西市など）、ビューローが実施する各種調査結果の提供

##### (2) メールマガジンの配信（月1回）

- ・官公庁、ビューローからの情報提供
- ・会員から情報を募集しての各種情報提供

##### (3) 会員情報紙の発行（年数回）

- ・会員情報紙「Hamanaakoぷれす」の発行

##### (4) コンベンション情報の提供

- ・コンベンションカレンダーによる開催情報の提供

#### 2 観光関係優良従業員の表彰

---

- ・浜松市及び周辺地域の観光産業の振興に著しく功績のある優良な観光関係従業員を表彰する。

#### 3 情報交換会「賛助会員の集い（観光セミナー及び交流会）」の開催

---

- ・会員を対象とした観光セミナーを開催するとともに、あわせて会員同士の交流、情報交換の場としての交流会を開催する。